用語集

ア行

用語	解説
アクセス道路	鉄道駅や高速道路のインターチェンジへ結ぶ道路。あるいは、大規模な都市施設や観光地などに連絡する道路。
アダプト制度	アダプトとは、養子縁組をするという意味であり、市民が公共スペースを「アダプト」し、これを養子のように愛情を持って面倒を見る（清掃・美化する）ことから命名された。自治体と市民がお互いの役割分担についての協議・合意を交わし、この合意に基づいて継続的に美化活動を進める制度。
アユモドキ	国の天然記念物で環境省レッドデータブックの絶滅危惧ＩＡ類の淡水魚。ドジョウの仲間で泳いでいる姿がアユに似ていることから、この名前が付いた。亀岡市と岡山県の一部に分布しており、近年、急激な減少が危惧されている。平成２９（２０１７）年度には市の魚に認定された。
一般府道	主要地方道以外の府道。
インフラ	インフラストラクチャー。生活を支える社会基盤。
大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画	大阪湾・淀川の河川、海域などの公共用水域の水質環境基準を維持・達成するため、下水道で整備すべき区域や下水処理場からの排水水質基準を定めた下水道整備に関する総合的な基本計画。
オーガニックビレッジ	有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村。
オーガニックビレッジパーク	令和５（２０２３）年2月１２日に本市が行った「オーガニックビレッジ宣言」の内容を具現化した公園。京都・亀岡保津川公園を当該公園とするため、整備を進めている。
オープンスペース	公園・広場・河川・農地など、建物によって覆われていない土地、あるいは敷地内の空き地の総称。
卸小売業年間商品販売額	１年間の当該事業所における卸売業・小売業の商品の販売総額。
温室効果ガス	太陽からの放射をほとんど透過する一方、地表から宇宙空間に向かって逃げる赤外線放射を吸収する温室効果を持つガス。二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、ＨＦＣ、ＰＦＣ、六フッ化硫黄の６種類。

カ行

用語	解説
開発審査会付議基準	周辺の市街化を促進する恐れがなく、市街化区域内で行うことが困難または著しく不適当と認められる開発行為について、開発審査会の議を経て許可することができるとされたもの。

用語	解説
改良住宅	住宅地区改良法に基づく住宅地区改良事業の施行により、その居住する住宅を失い、住宅に困窮するもののために建設される住宅。
霞堤	周囲の堤防より高さが低いなど、不連続な堤防。洪水時には高さが低い堤防部分から堤内地に洪水の一部が流入し、下流に流れる洪水の流量を減少させ、下流の被害を減少させる一方、洪水の流入による浸水により農地などに被害が及ぶ。
学校規模の適正化	それぞれの地域の実情に応じて児童・生徒にとって望ましい学習環境・集団活動を形成できるよう学校区の見直しや地域との協働を図りつつ、魅力ある学校づくりを目指す取組。
駅前のエントランスエリア	亀岡駅南側から城下町エリアをつなぐ約３．０ｈａのエリア。
かめおか霧の芸術祭	文化・芸術を通じて亀岡の魅力を発信するとともに、新たな文化資源・観光資源の創出や地域活性化を図るため、晩秋にかけて亀岡市を包む「霧」を象徴に、市内一帯でアートを通じて、人と地域の魅力を育てる芸術祭。
亀岡市空家等対策計画	近年の空き家などの増加により地域住民の生活環境への影響が問題になる中、空き家などに関する施策を総合的かつ計画的に実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に寄与することを目的として策定された計画。
亀岡市いきいき長寿プラン	高齢化の進行に伴う要介護など高齢者の大幅な増加、一人暮らしや高齢者だけの世帯の増加に対応し、高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が継続できるように支援することを目的に、保健、福祉、介護が連携して取り組む「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」を一体的な計画として捉えたプラン。
亀岡市観光振興ビジョン	本市を訪れる多くの観光客による観光消費の拡大と利便性の高い観光の実現をはじめとした観光の活性化を実現していくため、本市観光のゲートウェイである保津川下り乗船場周辺エリアとトロッコ亀岡駅周辺エリアの観光活用に係る基本理念・方向性を示す計画。
亀岡市景観計画	良好な景観形成を図るため、その区域、良好な景観形成に関する基本方針、行為の制限に関する事項（行為ごとの景観形成基準）などを定め、届出勧告制（建築物及び工作物の形態意匠（色彩やデザイン）については変更命令制）により、景観上の規制誘導を行うことなどを目的とした計画。
亀岡市上下水道ビジョン	５０年先、１００年先を見据えた亀岡市上下水道事業の存在意義や使命、価値観といった企業経営の根本となる考え方を示し、これからの時代の上下水道事業運営の指針となる計画。

用語	解説
亀岡市新火葬場整備基本計画	建設地、配置計画、機能など、新火葬場の整備についての基本計画。
亀岡市ゼロエミッション計画（亀岡市ごみ処理基本計画）	環境にも将来世代にも大きな負担となる埋立処分場を新たにつくらないまちづくりを目指して策定された、市内のごみ（一般廃棄物）処理についての計画。
亀岡市地域公共交通網形成計画	まちづくりと一体となった公共交通の再編を目指して策定された計画。郊外部を含む市内全域における需要と運行のバランスがとれた地域に根ざした持続可能な公共交通網の形成と、交通弱者に配慮した円滑に移動できる交通環境の構築を目的とする。
亀岡市地域防災計画	防災活動の総合的かつ計画的な推進を図り、市域ならびに市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を軽減して郷土の保全と市民福祉の確保に期することを目的とした計画。
亀岡市博物館整備基本計画	本市に求められる新しい博物館について、全体計画・施設計画・展示計画・活動計画・管理運営計画などを示した基本計画。令和７（２０２５）年３月策定。
亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例	使い捨てプラスチックごみゼロの実現により、良好な環境を保全し、次世代に引き継ぐことを目的としてプラスチック製レジ袋の配布禁止などを定めた全国初の条例。
亀岡市まちづくり協働推進指針	市民参画・協働の輪をより一層広げ、市民と行政がそれぞれの特性を活かしつつ、豊かで魅力のある、誰もが愛着心を持てるまちを目指し、協働によるまちづくりへの基本的な考え方や方向性を示す指針。
亀岡市水と緑の基本計画	都市緑地法第４条に基づく「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」として、「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想」に示した考え方をもとに、水と緑に彩られた亀岡ライフスタイルを実現するための計画。
亀岡ふるさとエナジー株式会社	市と民間企業の共同出資により設立した地域新電力会社。公共施設を中心に電力を供給する地産地消型の地域新電力事業を実施するとともに、その収益をまちづくりに資する新事業に使う。
亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想	亀岡の魅力ある地域資源を埋もれさせることなく、亀岡の名所づくりや景観保全を進めるとともに、快適でうるおいのある生活環境や美しい景観を創出し、住む人が誇れるまちづくりを促進する構想。
かめきたサンガ広場	ＪＲ亀岡駅北駅前広場の愛称。全国各地から募集して決定した。

用語	解説
川と海つながり共創プロジェクト	海ごみサミットでされた約束を実行するため、平成２５（２０１３）年４月に設立。拡大しつつある海洋プラスチック汚染を防ぐため、海に面していない内陸の亀岡から、企業や地域、大人も子どもも含めたくさんの人たちに、川と海そして海ごみに対する正しい知識を普及する活動を展開。
川の駅・亀岡水辺公園	本市の豊かな自然や歴史、生活文化を育んできた桂川を活用して、桂川舟運の歴史・文化の学習の場、スポーツ及びアクティビティの体験の場、地域にぎわい創出事業の場並びに地域住民及び来訪者の交流の場。
簡易水道	計画給水人口が５，０００人以下（１０１人以上）で、水道によって水を供給する水道事業。施設が簡易ということではなく、計画給水人口の規模が小さいものを簡易と規定したもの。
管渠	水路の総称。給水・排水を目的として作られる水路全体のこと。
既存集落まちづくり区域指定制度	既存集落における地域活力や地域コミュニティの維持・活性化を図るため、市長が区域と予定建築物の用途を指定して、指定区域内で自己用住宅などの指定用途の建築物の立地（開発・建築許可）を可能とする制度。
京都縦貫自動車道	京都府宮津市から乙訓郡大山崎町に至る自動車専用道路。京都府内を縦貫し京都府の背骨とも表される。京都府北部と南部の連携を強化するとともに、京都市街地の環状線道路としての役割を果たす。
京都中部阪神連絡道路	阪神地域と京都府中部地域を南北に結ぶ重要な幹線道路であり、国道４２３号を指している。
京都府景観資産	府内各地における身近な景観を、それを守り育てている府民やまちづくり団体の提案により登録していき、景観の価値を共有するとともに、景観づくり活動や景観を活かしたまちづくりにつなげるための景観行政の一つ。
公営住宅等長寿命化計画	市営住宅などストックの適切なマネジメントを行うべく、住宅の状況や将来的な需要見通しを踏まえた各団地のあり方を考慮した上で効率的・効果的な団地別・住棟別の事業手法を選定し、長寿命化に資する予防保全的な管理や改善を推進するための計画。
公園施設長寿命化計画	適切な施設点検、維持補修などを行うことにより、既存公園施設の耐用年数の延伸及び公園施設の企画設計から建設、維持管理、廃棄までに要する総費用の低減に役立てる計画。

用語	解説
公共施設等総合管理計画	過去に建設された公共施設などが一斉に更新時期を迎える一方、地方公共団体の財政が厳しさを増し、人口減少などによる利用需要も変化していることなどを踏まえ、市民の財産である公共施設やインフラを持続可能な形で次世代に引き継いでいくため、地方公共団体が公共施設などの現状を把握し、長期的視点で総合的かつ計画的な管理を行うための基本方針を定める計画。
合計特殊出生率	１５～４９歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの（一人の女性が産む子どもの数の平均）。
高水敷	常に水が流れる低水路より一段高い敷地。平常時にはグラウンドや公園などの形で利用されるが、洪水時などには水に浸かってしまう。
交流人口	定住人口に対する概念であり、通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、スポーツ、観光、レジャー、アミューズメントなどによりその地を訪れる人口。
国営農地再編整備事業	効率的な土地利用と生産性の高い農業生産基盤を形成するために、広域的・計画的に整備を行い農業振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的として、国が事業主体となって行う事業。
国勢調査	総務省統計局が行う全国一斉の国勢に関する調査。全国都道府県及び市区町村の人口の状況を明らかにし、社会福祉、雇用、住宅、環境整備、交通など各種政策上の諸施設の企画・立案のための基礎資料を得ることを主たる目的として国内のすべての居住者について行われるもの。
国立社会保障・人口問題研究所	人口や社会保障に関する研究をはじめ、人口・経済・社会保障の相互関連についての調査研究を通じて、研究と行政を橋渡しし、国民の福祉の向上に寄与することを目的として設立された厚生労働省の機関。
子育てコリドー	子どもの居場所や子育て支援・相談の機能を導入し、地域住民と一緒に子育てするまちの実現を目指すため、ＪＲ亀岡駅から市役所を経由してガレリアかめおかまでを結ぶゾーンのこと。
子育て支援センター	地域の子育て家庭に対し育児支援を行う総合的な拠点施設。自由にのびのびと遊べる場や親同士の交流・学習の場を提供。また子育てサークルなどへの支援、相談事業、情報提供事業などを展開している。
コミュニティバス	ＪＲ亀岡駅とその周辺に点在する公共施設、医療施設、商業施設などを公共交通で結ぶことを目的に、ＪＲ亀岡駅を起点として路線バスの走っていなかった中心地域を巡回運行。運行業務は京阪京都交通㈱に委託。

サ行

用語	解説
再生可能エネルギー	太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスをエネルギー源として永続的に利用できる自然界のエネルギー。
財団法人亀岡市都市緑花協会	緑と花の都市を目指して昭和６３（１９８８）年3月に設立された財団法人。活動内容としては、かめおか緑花フェア、花づくりコンクール、各種講習会・展示会・教室、都市公園の管理運営、街路樹の維持管理、駅前などの緑化業務など。
市街化区域	都市計画区域において、すでに市街地を形成している区域及び概ね１０年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
市街化調整区域	都市計画法に基づく都市計画区域のうち市街化を抑制すべき区域。市街化調整区域内では、自治体が地域の実情に応じて区域、用途を定める場合を除き原則として農林漁業用の建物や、一定規模以上の計画的開発などを除き開発行為は許可されない。
市街地開発事業	一定のエリアを区切って、そのエリア内で公共施設の整備と宅地の開発を総合的な計画に基づいて一体的に行う計画。市街地開発事業の一つに土地区画整理事業がある。
自助・共助・公助	防災においては、自助：「自らの安全は、自らが守る」ため、自らの手で自分・家族・財産を守り助ける備えと行動、共助：「自分たちのまち（地域）は、自分たちで守る」ため、近隣住民と協力し、地域を守り助ける備えと行動、公助：市役所をはじめ、警察・消防・府・国などの行政機関、ライフライン各社をはじめとする企業などによる応急対策活動、救助活動、支援物資の提供などの公的な支援。
史跡丹波国分寺跡	奈良時代に聖武天皇の勅命によって建立された国分寺のうち、丹波国に建立された寺院跡。現在は国の史跡に指定され、亀岡市の名木、オハツキイチョウがそびえる。
自然エネルギー	太陽光や熱、風力、潮力など自然現象から得られるエネルギー。再生可能エネルギーとも呼ばれる。
市民農園	都市住民のレクリエーションとしての自家用野菜・花の栽培、児童・生徒の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園。
住区基幹公園	都市全域の中で配置される都市基幹公園と対となる、比較的小規模な公園で、都市計画で位置づけられた街区公園、近隣公園及び地区公園。
集約型都市構造	都市圏内の一定の地域を都市機能の集積を促進する拠点（集約拠点）として位置づけ、集約拠点と都市圏内のその他の地域を公共交通ネットワークで有機的に連携させる都市構造。

用語	解説
主要地方道	国土交通大臣が指定する、その地域で主要な役割を担う都道府県道または政令指定都市の市道。
準市道	亀岡市準市道認定基準要綱に基づき、市街化調整区域内または都市計画区域外の地域において本市が認定する道路。
浄化槽	下水道未普及地域にて各家庭に設置される汚水処理施設で、微生物の働きなどを利用して汚水を浄化し、きれいな水にして放流する。
小規模下水道	特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設、小規模集合排水処理施設の総称。
少子高齢化	人口構成に占める高齢者の割合が高く、子どもの割合が低くなる現象。
職住一体型	職場と住居とが同一の場所・地域にあること。
新型コロナウイルス感染症	人に感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス（ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２）」による感染症のこと。（ＣＯＶＩＤ－１９） 令和元（２０１９）年１２月以降、世界各地で感染が多数報告され、日本国内でも関連する患者が発生している。
シンボルロード	本市における亀岡駅から城下町エリアへとつながる駅前通り。
新名神高速道路	三重県四日市市から滋賀県、京都府、大阪府を経由し、兵庫県神戸市北区へ至る、名古屋と神戸を結ぶ計画とする約１７４ｋｍの高速道路。
森林経営管理制度	適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を林業経営者に集積・集約化するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図る仕組み。
水源の涵養	森林の土壌が降水を貯留して河川へ流れ込む水の量を平準化し、洪水の緩和及び川の流量を安定させる機能。また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質を浄化する機能。
３Ｒ	Reduce（リデュース：減らす）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再資源化）の頭文字をとったもので、循環型社会を構築していくためのキーワード。
生産緑地	都市計画法及び生産緑地法に基づく地域地区の一種。市街化区域内の農地のうち、公害や災害の防止など良好な生活環境の確保に効果があり、公園・緑地など公共施設などの敷地に適している５００㎡以上の土地を生産緑地地区として指定することにより、農林漁業との調整を図りつつ良好な都市環境の形成に資することを目的とする。

用語	解説
製造品出荷額等	１年間における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計。
生物多様性	生き物たちの豊かな個性とつながりのこと。生物多様性条約では、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性という３つのレベルで多様性があるとしている。
セーフコミュニティ	事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防できるという理念のもと、行政と地域住民など多くの主体の協働により、すべての人たちが安全・安心に暮らすことができるまちづくりを進めるもの。
その他の住宅（空き家）	賃貸用住宅や売却用住宅、二次的住宅に該当せず、人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など（空き家の区分の判断が困難な住宅を含む）。

タ行

用語	解説
ターミナル	交通機関が多く集まり、人の乗り降りが多い所。
第５次亀岡市総合計画	本市のあらゆる施策や取組の基礎となる最上位計画。計画期間を令和３（２０２１）年度から令和１２（２０３０）年度までとし、目指す都市像や土地利用の基本方針、今後の施策の基本的な方向性を示す「基本構想」と、基本構想に基づいて取り組むべき施策を体系的に示す「基本計画」で構成。
滞在型観光	１箇所に滞在し、滞在地で静養や体験型をはじめとしたレジャーを楽しむ、またはそこを拠点に周辺の観光を楽しむレジャー形態。
耐震化	構造物などにおいて、地震に耐えられる構造に改善・改修すること。
第３次亀岡市環境基本計画	平成２４（２０１２）年３月に策定した「第２次亀岡市環境基本計画」の計画期間の終了に伴い、環境に関する現状について的確に対応し、効果的に取り組むための施策を体系的・総合的に示した計画。
多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
地域公共交通会議	道路運送法の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバスなどの旅客運送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要となる事項を協議するため設置された組織。（事業者、住民代表、関係行政機関で組織）

用語	解説
地域コミュニティ	平常時における定期的な防災訓練の実施、住民の防災意識や災害時に向けた準備の喚起などに加えて、災害時には、災害発生直後の住民の安否確認、初期救助活動、情報の伝達、避難所の運営、被災した住居を狙った窃盗などを防ぐための住民による見回りなど、重要な役割を果たす。
地域コミュニティ核	旧村などを起源とする周辺部の集落。
地域主体型交通	地域住民や事業所などが事業主体となり、住民・利用者のニーズに柔軟に対応した公共交通を補完する交通手段。
地域包括支援センター	市町村が設置主体となり、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などを配置して、３職種のチームアプローチにより、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする総合相談機関。
地球温暖化	地球の平均気温が長期的に上昇すること。地球規模で気温が上昇することで、海面の上昇、異常気象の頻発、自然生態系や生活環境、農業などへの影響が懸念されている。
地区計画	住民が主体となって地区の将来に向けてのまちづくりの目標や方針を定めるとともに、地区内の建物を建築したり開発を行ったりする場合に守らなくてはならない地区独自の制限を都市計画法に基づいて定め、その地区の特性に応じたきめ細かいまちづくりを進めていく制度。
着地型観光	旅行者の受入地域で開発される観光プログラム。旅行者は訪問先の現地で集合、参加し、解散する。現地発の旅行商品という特徴があり、現地に精通した人たちが旅行商品を開発する。
出前講座	各自治体の事業や施策を市民に説明するとともに、市民からの意見や要望などを聞く場。
特定環境保全公共下水道	公共下水道のうち、市街化区域以外の区域において設置される下水道。
都市核	基幹交通軸に沿って形成された市の中心的な市街地。
都市機能誘導区域	医療・福祉・商業などの都市機能の立地を誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。
都市計画基礎調査	都市計画法に基づき、都市の現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査。
都市計画区域	市町村の中心の市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要がある区域。

用語	解説
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	人口、人や物の動き、土地の利用のしかた、公共施設の整備などについて将来の見通しや目標を明らかにし、将来のまちをどのようにしていきたいかを具体的に定めるもの。都市計画区域マスタープランともいう。
都市計画公園	都市計画法により定められる公園。規模や内容によって街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、特殊公園、広域公園の７種類に分類される。
都市計画提案制度	住民などが行政主導の都市計画について受動的に情報を受け取り単に意見を言うだけではなく、まちづくりや都市計画に関する提案を可能にすることで、住民のまちづくりに対する関心を高め、主体的かつ積極的な住民参加を促す制度。
都市計画道路	都市の健全な発展と機能的な都市活動を確保するため、都市計画法でルート、位置、幅員などが決められた、都市の骨格を形成する道路。
都市構造の評価に関するハンドブック	各都市におけるコンパクトなまちづくりを支援する参考図書として、都市構造のコンパクトさを評価する手法。
土砂災害防止法に基づく警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づく土砂災害基礎調査の結果により、指定・公示された区域。急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。
土地区画整理事業	道路、公園、河川などの公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の再配置・利用増進を図る事業。幅の狭い道路や家屋の密集の改善、災害発生時の避難や救急車両の進入の円滑化など、安全で安心なまちづくりにも寄与する事業。

ナ行

用語	解説
南海トラフ地震	南海トラフは、四国の南の海底にある水深４，０００m級の深い溝（トラフ）のこと。１００～２００年の間隔で大地震が発生しており、昭和東南海地震（昭和１９（１９４４）年）、昭和南海地震（昭和２１（１９４６）年）発生から７０年近くが経過し、次の大地震発生の可能性が高まってきている。
南丹地域商業ガイドライン	府内の７地域区分ごとに、中心市街地エリア、中心市街地の将来目標及び大型店抑制・誘導エリアなどを明示した地域商業のガイドライン。京都府中心市街地活性化懇話会の「まちなか再生を推進するガイドラインに関する提言」に基づき、京都府と亀岡市、南丹市、京丹波町により策定。

用語	解説
認定外道路	市道認定されていないが、一般の交通の用に供されている道路。
認定こども園	小学校就学前の子どもに対する保育及び幼児教育並びに保護者に対する子育て支援を一体的・総合的に提供する施設。幼稚園と保育所の両方のよさをあわせ持つ。
ノンステップバス	高齢者や障がい者が乗降しやすいバスとして開発されたもので、車両の床面高さを通常の８５ｃｍから３０ｃｍに低くしてステップをなくし、直接車内に乗降できる構造となっているバス。

ハ行

用語	解説
パートナーシップ	市民やＮＰＯ、企業、行政など、異なる組織や人同士が明確な目的のもとに対等な立場で、それぞれの得意分野を活かしながら連携し協力しあうこと。
パブリックコメント	市民生活に関わる計画や条例案などを制度化する際に、事前にその趣旨や原案を公表し、市民の意見を求め、提出された意見などを考慮して計画や条例案を決定するとともに、意見に対する考え方について公表する制度。
バリアフリー化	障がい者や高齢者が社会生活を営む上で「バリア（障がい、障壁）」を「フリー（自由、取り除く）」にすること。建物や道路など物理的なものだけでなく、心理的、精神的（偏見・差別など）なもの、制度的なものなどがある。
パリ協定	令和２（２０２０）年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組み。世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃より十分低く抑え、１．５℃に抑える努力を追求することを目的とする。
避難行動タイムライン	災害の発生を前提に、地域住民が連携して、地域特性をはじめ災害時に発生する状況をあらかじめ想定・共有し、「いつ」「誰が」「何をするのか」、また「いつ避難するのか」を時系列で整理した防災行動の指針で、「マイ・タイムライン」とも呼ばれる。
風致地区	都市の風致を維持するために定められる、都市計画法に基づく地域地区の一種。自然の景勝地、公園、沿岸、緑豊かな低密度住宅地などで指定される。
プラスチックごみゼロ宣言	亀岡市と亀岡市議会が平成３０（２０１８）年１２月１３日に行った。多様な川の生態系を育む「母なる川保津川」から、地球規模の問題となっている海洋プラスチック汚染解決に向けた取組を進め、令和１２（２０３０）年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指す。

用語	解説
府立京都スタジアム	収容人数約２１，６００人を有する府内唯一の専用球技場。京都サンガＦ．Ｃ．のホームスタジアムとして活用されるほか、サッカーやラグビーなどの国際試合が開催可能なスポーツ施設として、また、音楽や地域振興の催し物などの、府内最大級のイベント会場としても期待される。スタジアムの設置趣旨に賛同した京セラ株式会社がネーミングライツパートナーとなり、通称は「サンガスタジアム ｂｙ ＫＹＯＣＥＲＡ」。
ふるさとバス	平成１７（２００５）年４月から民間事業者の破綻による廃止バス路線の代替措置として、市が主体となり市周辺地域の生活交通を確保するため運行を開始。運行業務は京阪京都交通㈱が実施。
文化財保存活用地域計画	各市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プラン。
防火地域・準防火地域	都市計画法に基づく地域地区の一つで、市街地における火災の危険を防ぐために定められ、建築基準法と連動して建築物の防火上の構造制限を行う制度。
防災資機材	災害被害の発生、または拡大を防止するために使用する機器、器具。情報伝達用機器（トランシーバーなど）、初期消火・救急用器具（消火器など）、避難生活用機材・機器など。
防災まちづくり情報マップ	都市に関する情報と関連づけながら、災害時におけるリスク情報を重ね合わせ、分析した結果を可視化し、横断的・体系的に都市の課題を把握するためのマップ。
ほ場整備	農業の生産効率を上げるため、耕地区画の整備、用排水路の整備、土地改良、農道整備、耕地の集団化など、農地・農村の環境条件を整備する事業。
保津川かわまちづくり計画	川を活かしたまちづくり、まちを活かした川づくりを推進するため、京都府と亀岡市で策定した計画。

マ行

用語	解説
まちなか居住	集約型都市構造を実現する一つの手法として、また都市の中心部のにぎわいの回復策として、高齢者などの居住を中心部に誘導する考え。
モビリティマネジメント（MM）	一人ひとり、あるいは組織・地域のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通などを適切に利用するなど）に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

用語	解説
森のステーションかめおか	交流会館内にある、亀岡の特産品である天然砥石やチョロギを発信する展示・体験施設。天然砥石を使った研ぎ体験コーナーもある「匠ビレッジ」、キャンプサイト「鳥の巣ロッジ」で構成。

ヤ行

用語	解説
用途地域	都市の将来像を想定した上で、都市内における住居、商業、工業その他の用途を適切に配分することにより、機能的な都市活動の推進や良好な都市環境の形成を図るもの。市街地を１３種類の地域類型のいずれかに指定し、建築物の用途、密度、形態などを制限する。
淀川水系桂川上流圏域河川整備計画	淀川水系桂川上流圏域の府管理河川に関する今後概ね３０年間の整備内容を定めた河川整備計画。京都府が平成３０（２０１８）年8月に策定。

ラ行

用語	解説
ライフステージ	人間の一生を年齢に伴って変化する生活段階。幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などに区分したもの。
ライフライン	電気、水道、ガス、通信、交通施設、情報施設など日常生活に不可欠なものをネットワークにより供給するライン。
リーマンショック	平成２０（２００８）年9月１５日にアメリカの投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻したことをきっかけに、世界的に起こった金融危機。
リサイクル	資源の節約や環境汚染防止などのために、不用品・廃棄物などを再利用すること。
緑地保全地域	都市の緑地を保全するために指定する地区。無秩序な市街化や公害・災害の防止効果があるもの、神社・寺院などの建造物と一体となった伝統的文化的意義を有するもの、風致景観が優れるなど地域住民の生活環境確保に必要なものなどが指定対象となる。

ワ行

用語	解説
ワークショップ	会議運営の方法で、地域課題を官民連携で考えるために、地域に関わる多様な立場の人々が集まり、協議作業や話し合いなどの諸活動を行う。

A～Z

用語	解説
ＢＣｏｍｅ＋	亀岡市保健センター。安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行い、関係機関と連携しながら一人ひとりの不安や悩みに合わせた相談や情報提供を行う拠点。妊娠中、産後の人、１８歳までの子どものいる家庭が対象。
ＣＯＰ２１	平成２７（２０１５）年１１月３０日から１２月１３日まで、フランス・パリにおいて開催された、国連気候変動枠組条約第２１回締約国会議。
ＬＥＤ	発光ダイオード（Light Emitting Diode）の略。電気を流すと光る性質を持つ半導体のこと。電気を一旦熱に変えてから光を発生させる白熱電球や蛍光灯に対し、流れる電気をそのまま光に変換する仕組みで効率が良く、寿命も長い。
ＭａａＳ	Mobility as a Service の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段を一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段ではなく、利用者にとって一元的なサービスとして捉える概念。
ＮＰＯ	利益を目的としない組織・団体（Non Profit Organization または Not-for-Profit Organization）。特にＮＰＯ法人は特定非営利活動促進法の規定により設立された団体で、無償のボランティア団体ではなく営利事業も行うが、余剰利益があっても構成員に配分せず団体の活動目的を達成するための費用に充てる。
ＰＤＣＡサイクル	Ｐｌａｎ（計画）、Ｄｏ（実行）、Ｃｈｅｃｋ（点検）、Ａｃｔｉｏｎ（改良）を繰り返し、管理プロセスを反復することによって継続的に改善する手法。
ＳＤＧｓ	Sustainable Development Goals の略。平成２７（２０１５）年９月に国連で合意された全世界すべての人たちが持続的に人らしく生きるための世界共通の開発目標。
ＳＮＳ	ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できるＷｅｂサイトの会員制サービス。
ＵＩＪターン	大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称。Ｕターンは進学や就職で大都市圏へ移住した地方出身者が出身地に戻ること、Ｉターンは出身地とは別の地方へ移住すること、Ｊターンは出身地には戻らず、出身地に近い都市へ移住すること。

亀岡市都市計画マスタープラン

発　　行　　令和8年10月
亀岡市　まちづくり推進部　都市計画課
〒621－8501　京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL(0771)22－3131(大代表)
https://www.city.kameoka.kyoto.jp


亀岡市
KAMEOKA CITY